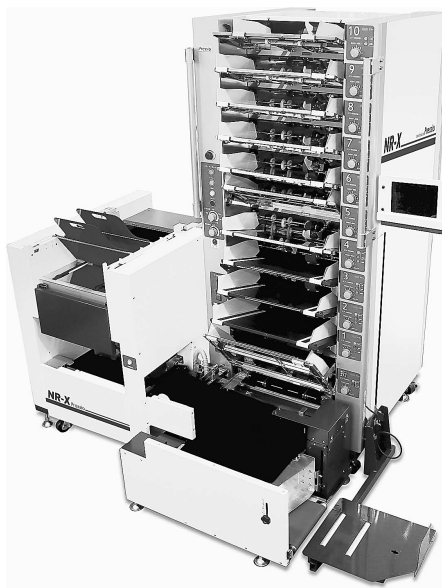


高橋宗浩所長 京都新聞 瀬田販売所 に聞く

京都新聞瀬田販売所 (滋賀県大津市) の高橋宗浩所長 (59) は、業界歴40年のベテラン。プレッショの新型インサーター搭載「合機」NR・Xの開発に、1年にわたり協力し、開発陣の奮闘を見守ってきた。

完成したNR・Xは「安定性と操作性が格段に向上した」と話し、手応えを感じている高橋所長。日販協近畿の理事長としても活躍しており、新聞販売店が生き残るには、労働環境の改善による人材確保が急務と説く。

NR・Xは販売店の労働環境改善にも役立つとする高橋所長に同機の特長などをうかがった。



NR-X (21段機)

開発陣の奮闘に込める

データ収集への協力に加えアドバイスも

— 高橋所長は、新型機NR-Xの開発に、改善点など協力なされたと聞きました。

私は旧モデルのTZS・MRIを使っているのですが、後継機NR-Xのモニターを1年ほど務めました。ユーザーの立場から、私が出ると、すぐにNR-Xとスタッフ数人が実際に使

— 高橋所長は、新型機NR-Xの開発に、改善点など協力なされたと聞きました。

私は旧モデルのTZS・MRIを使っているのですが、後継機NR-Xのモニターを1年ほど務めました。ユーザーの立場から、私が出ると、すぐにNR-Xとスタッフ数人が実際に使

販売店の声をもとに、つくり込まれたマシン

「自分の仕事に集中できる」
負担軽減が人材確保と
定着化にも寄与

— 瀬田販売所では、折込広告を入れる作業は、ひとりでやるので

基本的には私かスタッフ (アルバイト) がひとりでやります。梱包を解いた新

プレッショ「NR-X」
働く環境を変える「抜群の安定性と操作性」



「これからは折込機と言えば、NR-Xのようなインサーター機能付きが当たり前になりますよ」と話す高橋所長

— 以前は、配達スタッフも配達前に折込広告を入れていました。今はその負担がないので、配達に集中できるようになり、不配や遅配はなくなりまし

その結果、人材確保の面でも応募者数が増えて定着率も上がりました。今はや

NR-Xで労働環境の改善を

働きやすさが選ばれる販売店につながる

— 瀬田販売所の労働環境はとうなっているのです

現在、社員は週休2日

有給休暇もあり、週40時間労働です。5年前から実施して

— 人材募集の件ですが、瀬田販売所の好条件をPRすれば、人が集まるのでは。

給紙機構を一新

誰でもひとりで扱える操作性の良さ

— どのような点が素晴らしいと感じましたか。

圧倒的な安定感と、旧モデル以上にひとりで楽に扱える操作性の良さです。

— 新された給紙機構は、とくに優れています。最初の調整で1枚目がきちんと出れば、あとは重送もあり

また、NR-Xは厚い朝刊から薄い夕刊まで、すべてに対応します。8ページの夕刊にもきちんと折込広告が入ります。



現在、使用しているTZS-MRIを使って作業する高橋所長

インサート速度は中速でも十分

メンテナンスしやすく負担軽減

— NR-Xを使ったスタッフの感想はどうでしたか。

重送などのミスもなく、最初から最後まで安定して動くので、とても使いやすいという感想でした。

— 高橋所長はNR-Xを導入するのですか。

— 最後にあります

— 安定性が抜群に向上し、誰でも一人で使えるようになったのも嬉しい改良点です。これは、インサーターの給紙機構が刷新され、重送による作業ストップがなくなったためです。

旧モデルはいったん5部にまとめた新聞に圧力をかけ、そこから1部ずつ給紙する仕組みを採用して

— 給紙機構は、具体的にどこが改善されたのですか。

紙を送る1合機のゴムローラーを表面がギザギザの歯切りゴムから、平面のスリックゴムに替えていま

— 旧モデルより少し小さいと感じたのですが、スタッフも同じ意見でした。そこでプレッショさんに確認したところ、音量は同じだが、音の質が変わったから小さく聞こえるのではないかと、ということでした。

— メンテナンスは

— 私かテストした範囲では、日頃のメンテナンスは旧モデルより楽でした。旧モデルはベルトに付着したインクを拭き取る必要がありましたが、NR-Xはベルトがローラーに変わったので、掃除する手間が省けるようになりました。

■プレッショ連絡先
0120-37-2040
※お客様の発信エリアを認識する予定です。同大会の日時と会場は次のとおりです。

■全国新聞販売フォーラム2024神戸大会
開催日 6月12日 (水)
開催時間 午前11時〜午後3時半
会場 神戸ポートピアホテル (神戸市中央区港島中町6-10-1)